

1 単元名 Program 6 Our Hopes, Our Plans (Sunshine Enligh Course 2)

2 指導観

○ 近年社会のグローバル化が進展し、あらゆる場面で人・もの・情報の交流が活発に行われるようになってきた。異言語・異文化をもった人々との接触の機会は今後ますます増えていくことが予想される。

本課は、テレビ会議を通して外国の生徒の将来の夢や意見を聞きながら、自分の希望を述べるというものである。本校においても、総合的な学習の時間の職場体験学習などで職業世界の多様性を学び、自分の将来の夢について考えはじめた生徒も多い。それらを英語で表現することを学んでいくことは、生徒にとっても興味深い題材である。

ここで取り扱う言語材料は不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法である。不定詞を学習することで、生徒は自分の考えや行動の理由・目的が表現できるようになり、コミュニケーション活動の広がりを実感できる。

○ 本学級は男子17名，女子14名，計31名で構成されている。約8割の生徒が英語活動が好きであると答えている。また，将来的に英語を話せる必要性を感じている。素直に英語活動に参加しようとする雰囲気があるが，多くの単語を覚えることや複雑な文構造の学習では，分からないからと最初から諦めてしまう生徒も少なくない。

アンケートの4技能についての質問では「話すこと」「書くこと」に力を入れたいという生徒が多く，自分の思いを英語で表現することに興味がある。日常的なことを話題にして取り組ませている自己表現の活動では，辞書を使いながら表現しようとする意欲が見られる一方，友人の英文を熱心に聞き取ろう，読み取ろうとする姿勢・態度が育っていない。また，教師の説明を集中して聞けない生徒もおり，文法事項の定着が不十分に終わっている現状がある。

○ 指導にあたっては，学習形態の工夫，および反復練習により日常の行動でよく使うフレーズを覚えさせる。英語を表現することが苦手な生徒がペアで互いに助け合いながらコミュニケーション活動に取り組める授業を目指す。そのためにまず，辞書を用いてボキャブラリーを広げ，表現の幅を広げる。次に相手の夢や願いを表現活動やインタビュー活動を通して知る。また，ALT とのコミュニケーションを図る際の態度にも目を向けさせる。その際，実際のコミュニケーションの様子を VTR で録画して提示し各自で振り返らせるとともに，表現の内容や態度について ALT からアドバイスをしてもらう。最終的にはどの生徒も“分かる”“伝わった”を実感し，自信を持って楽しく英語を発話できるようになることを目指したい。なお，前単元で覚えた重要表現を毎時間の始めに Q&A で確認することにより，全ての生徒がコミュニケーションを図れる喜びを感じさせる機会としたい。

3 題材の目標と評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	・将来つきたい職業やしたいことについて，積極的に情報交換している。
表現の能力	・不定詞を用いて，自分が望んでいることやその理由について述べたり，友達の望んでいることについて尋ねたりすることができる。
理解の能力	・テレビ電話に参加している登場人物の将来の夢やその理由について読み取ることができる。
言語や文化についての 知識・理解	・不定詞の意味・用法を理解している。

4 指導計画 (9時間)

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)	評価基準 (関心・意欲, 表現, 理解, 言語・文化)		C と判断される生徒への 手だて
				A	B	
1	<p>自分の将来の夢や希望を友達と共有しよう</p> <p>不定詞の名詞的用法を理解し、それを用いた表現活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場面をできるだけ多く設定し、実践的コミュニケーション能力の育成をはかる</li> <li>ワークシートを工夫して、全員が参加できるようにする</li> </ul>	<p>表：自分の好きなことを表現することができる (発言チェック・プリント分析)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本文の構造を理解し、即座に自分の好きなことを発表することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本文の構造を理解し、動作リストを参考にしながら、適切な英文を発表することができる</li> </ul>	友人との助け合い学習を支援し、アドバイスしながら英作文ができるようにする
1 本時	<p>不定詞や既習の表現を用いて、クラス独自のALTのプロファイルを作る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を積極的に活用させる</li> </ul>	<p>関：コミュニケーション活動に意欲的に取り組んでいる (様相チェック)</p> <p>表：正しい英文を使って質問することができる (発言チェック・プリント分析)</p>	<p>ALTの好きなことや望んでいることを尋ねる活動に意欲的に取り組もうとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英文を見ずに相手の顔を見て質問し、答えをメモすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時々英文を見ながら質問し聞き返しながらも情報を得ることができる</li> </ul>	辞書の使い方をアドバイスし、文構造を理解できていないところには支援する
1	<p>§1の新出単語・教科書の本文を理解し、Q&amp;Aに答える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の夢にキーワードを絞って聞きとらせるよう指示する</li> </ul>	<p>理：新出単語をおさえ、本文の内容を読み取ることができる (プリント分析)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の希望を細かな部分まで読み取ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードや絵を参考にしながら、大切な部分を読み取ることができる</li> </ul>	理解できた部分を言わせてみる
2	<p>§2の基本文を理解し、それを用いた表現活動をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I come to school to study hard.</li> </ul> <p>§2の新出単語、教科書の本文のリスニングをして内容を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の学生時代の話をしなが、自分の思いを伝えることに興味を持たせる</li> </ul>	<p>関：目的を加えた英文を積極的に作ろうとしている (様相チェック)</p> <p>表：不定詞や既習の表現を使って学校にくる目的を表現することができる (プリント分析)</p>	<p>辞書を用いながら、理由を加えて自分の思いを伝えようとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の副詞的用法を用いながら自分の思いを適切な英語で表現できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の副詞的用法を用いながら自分の思いを伝えることができる</li> </ul>	理解できた部分を言わせてみる
2	<p>§3の基本文を理解し、それを用いた表現活動をする・Do you have anything to dink/eat/ read?</p> <p>§3の新出単語、教科書の本文のリスニングをして内容を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の2つの用法と比較させ、文構造を理解させる</li> </ul>	<p>関：相手の情報を聞ききとろうと積極的に会話しようとする (様相チェック)</p> <p>言：名詞の後ろに修飾する内容がつけ加えられることが理解できる (プリント分析)</p>	<p>Do you have anythin to ~?のインタビュー活動でタスクを完成させるように積極的に活動に参加している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形容詞的用法を正しく理解し、物について説明することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形容詞用法を理解し物の説明ができる</li> </ul>	特に重要な表現を教科書・ノートと一緒に見ながら個別指導する
2	<p>不定詞の3つの用法のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の3つの用法を使って自分の夢や希望を表現する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を活用しながら表現する幅が広がる楽しさを味わわせる</li> </ul>	<p>表：文構造を正しく、自分の考えを書くことができる (プリント分析)</p> <p>関：自分の夢や希望を意欲的に表現しようとしている (様相チェック)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい内容を正しい構文で詳しく説明できる</li> </ul> <p>辞書を用いながら、既習の表現や構文を使って自由に思いを伝えようとしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたい内容を辞書を用い説明できる</li> </ul>	不定詞の基本的な表現を音読練習し、書き取る練習をさせる

5 本時 平成21年10月28日（水曜日） 第5校時 場所 2年〇組 教室

(1) 本時の主眼

- ・不定詞の名詞的用法を用いて尋ねたり，答えたりして意欲的に活動に取り組もうとする。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- ・不定詞の名詞的用法を用いて相手の好きなことや望んでいることを尋ねることができる。（表現の能力）

(2) 本時の指導観

前時までに生徒は，不定詞の名詞的用法を学び，自分の好きなことや願望を表す表現を学習した。

本時では，まず日常よく使うフレーズの復習をし，英語学習の雰囲気を作る。次に，パートナーと協力してALTの好きなことや望んでいることを質問し，ALTのプロファイルを作る。この時に自信のない生徒もペアで協力して助け合えるよう配慮していきたい。この活動では理由や説明など，プラスワンセンテンスできるように既習の文型も積極的に活用するように呼びかける。自分達の知り得た情報でALTのプロファイルが完成していく達成感と，クラス独自のプロファイル作成に貢献し，人の役に立てたという自信につながる活動としたい。又，ALTからも生徒たちの好きなことや望んでいることを尋ねてもらい，答えられるように促したい。

(3) 準備 ①センテンスカード ②絵 ③お題カード ④ワークシート ⑤辞書 ⑥プレイズカード ⑦評価カード

6 過程

学習活動・内容	資料 用具	指導上の留意点	形態 一斉	配時	評価規準	評価基準		Cと判断される 生徒への手だて
					(評価方法)	A	B	
1 あいさつ		・ 3人の先生に元気よく挨拶をする	一斉	1				
2 I like to~. / I want to~.の復習	①	・ 日常使う表現を復習しながら，自分の好きなこと，したいことを表現させる	一斉	5				
3 Do you want to go to America? Where do you want to go? ・ 口頭練習する	①	・ 疑問詞の復習をして，幅広い質問ができるよう確認させる	一斉	4				
4 本時のめあての確認  2年〇組の作るALTのプロファイル を完成させよう	②		一斉	3				
5 コミュニケーション活動 ・ デモンストレーションをする ・ 活動の手順を説明する ・ ペアでお題（質問項目）を英語に直し，ALTからの答えをできるだけ多く聞き出す	③ ④ ⑤ ⑥	・ ALT・T2と分かりやすくデモンストレーションをする ・ 数多く質問すると，多くのプレイズカードを貰えることを伝える。 ・ 机間指導し，個別の指導をする 黒板に分かった情報をキーワードで書かせる際に，日本語でも良いことを伝える	ペア	27	関：コミュニケーション活動に意欲的に取り組んでいる <様相チェック> 表：正しい英文を使って質問をすることができる <発言チェック・分析プリント>	ALTの好きなことや望んでいることを尋ねる活動に意欲的に取り組もうとしている  ・ 英文を見ずに，相手の顔を見て質問し，答えをメモすることができる	・ 時々英文を見ながら質問し，聞き返しながらも情報を得ることができる	・ 辞書の使い方をアドバイスし，文構造を理解できていないところには支援する
6 本時のまとめと発表 ・ ALTについて分かったことを発表する ・ 自己評価をする	⑦		個人	10				